

## モスクワ自転車展示会及び市場調査

モスクワで開催された自転車展示会および同市内自転車小売店を訪問、調査を行ったので以下の通り報告する。

### 1. 第4回モスクワ国際自転車展（VELOPARK2008）

今回の自転車展 VELOPARK2008（4<sup>th</sup> Moscow International Bicycle Trade Show）は自転車単独の展示会であり、2005年から開始され今年で4回目の開催である。

#### 【展示会概要】

主催： Rte-Group Ltd.

会場： LFC CSKA(モスクワ市内)

会期： 2008年2月22日(金)～24日(日)

開催時間： 10:00～18:00

入場者数： 15,000人※（昨年14,680人） ※主催者推計

出展者数： 177ブランド※（昨年79社） ※VELOPARK2008出展ブランドリストより



競技場正面



展示ホール

展示会はモスクワ市内の「LFC CSKA」というスポーツ競技場で開催され、市中心部から地下鉄で4駅目と利便性は良いが、最寄り駅からは少し離れた場所にある。

出展者数は2005年23社から始まり、2006年46社、2007年79社そして2008年には出展ブランド数は177（※出展社数は現在未公表のため、出展ブランドリストよりブランド数を集計した）にも及んでいる。その中には、欧米有力ブランドも含まれており、MTBではジャイアント、メリダ、オーサー、マリン、コナ、ゴースト、パンサー及びCUBEなどの中・高価格帯商品が展示され、ロードレーサーではチネリやオルベアの高級品も見ることができた。部品・アクセサリーでもシマノ、SRサンツアーのほか、コンチネンタル、マビック、マグラなど高付加価値商品が出展され、昨年訪ねたMICS展が廉価なMTB類型車の展示がメインであったのとは対照的である。またMICS展は他のスポーツ用品との合同開催形式で、ロシアでは冬季にこのようなスポーツ用品展がいまだ競合状態にあり、今後は自転車単独の展示会として、この

VELOPARK に欧米の商品を扱う出展者が集まる可能性もある。



地元ロシア出展者のブース

来場者は 2005 年 4,515 人、2006 年 9,712 人、2007 年 14,680 人、そして 2008 年は主催者推計で 15,000 人に達しており（正確な数値は現在集計中）、回を重ねるごとに順調に増えている。更に今回は展示スペースに隣接するスペースに大規模な BMX 用のハーフパイプなどを設置、朝から BMX が次々と持ち込まれ、およそ 80 名の若いライダーが練習する様子は壮観であった。同展では BMX やトライアルの大会も開催され、ロシアでは近年、欧米の流行に敏感な若年層を中心に BMX の人気が高まっており、市内では BMX 専門店も数点あり、週末には BMX を楽しむ姿が市内の各所で見られるほどである。ユーザーショーとしての地位を築く上で、このようなイベント併催は効果的であり、他の欧州諸国の自転車ユーザーショーの形態に比較的近いといえる。

来年は 2009 年 2 月 22～24 日の間、同じ会場にて開催予定である。



BMX コーナー



シマノブース

## 2. モスクワ市内自転車小売店

### ① KY 店

同店は幼児・子供用品を販売する様々な小売店が集まった市場の1テナントである。わずか10畳ほどの広さの店舗であるが、幼児用三輪車は500ルーブル（※以下ルーブルは、Pと表記、2,250円）、幼児車及び子供車は1,500～3,000P（6,750～13,500円）であった。大人用はMTB類型車が5台ほどあった。アクセサリや付属品も含めて商品のほとんどは中国製であり、この店舗は年間を通じて開業している。この市場には同様の自転車テナントが他に2軒ある。



KY 店内部の様子



KY 店外観

### ② AV 店

同店はドイツのブランド「パンサー」のロシア代理店の事務所兼ショールームであった。パンサーは積極的にロシアや中東欧に進出しており、ハンガリーとリトアニアに工場を持っているが、同店の自転車はリトアニアから輸入されている。この店では、パンサーの全車種を取り扱っており、MTBはフルサスペンションの上級モデルからフロントサスペンション付き入門車まで幅広い価格帯、10,000～70,000P（45,000～315,000円）である。シティ車及びトレッキング車は10,000～20,000P（45,000～90,000円）である。他にBMX、子供車なども展示され、ここで小売りも行っている。また、電動アシスト自転車も1台置かれていたので、その販売動向について聞いたところ、車種の一つとして展示しているのみで、ロシアでは電動自転車の人気は低く、販売は期待できないとのことであった。

### ③ VN 店

この店は、自社ブランドの自転車を扱う商業型メーカーの事務所兼倉庫であった。更に別棟の組立作業所に更に案内されたが、そこにはMTB類型車を中心にBMX、折りたたみ車があったが、主力商品の殆どを現在VELOPARKに出品中であった。室内にはシマノやPROのパーツ類もあり、ここで高級品やオーダーメイド品の組立作業を行う他、完成車とパーツ類も小売している。ロシアで従来から見られるタイプのシティ車を見かけたので価格を聞いたところ、1,500P（6,750円）という破格の安さであった。コースターハブのブレーキのみで他の付属品も少なくシンプルなものである。ロシア製自転車と思われたがすべて中国製で、フレーム

に部品を組み付けた状態で中国から輸入され、ここから 600km 離れた工場でタイヤだけを取り付けている。



VN 店倉庫



組立作業所



組立作業所内部の様子



ロシアのシティ車 (1,500P)

#### ④ AM 店

店舗はごく普通の住居アパート群の1階部分にあり、小売店としてショーウィンドーや目立つ看板も無かった。この店も上記③VN店同様、ただの小売店舗ではなく会社事務所兼ショールームで、同社でもオリジナルブランドのMTBを作っている。一部小売もしているが店舗面積は一部屋分しかなくかなり狭い。壁際に鍵やライトなどの付属品が少しあるだけで店舗は貧弱であった。自転車の殆どを上記展示会にて出品中であり、責任者も不在で詳細は確認できなかった。残された数台の在庫を一見したところでは中国製のMTB類型車であり、組立をロシアで行っている商業型メーカーのようである。

#### ⑤ VM 店舗群

この場所は昨年度も訪問したが、状況変化を確認するため今年も訪ねた。自転車小売店が数軒密集している地域であるが、下記3店舗以外でも幼児車と子供車の専門店、BMX 専門店などもあり、それぞれが専門分野を持ち、各店との差別化を図っている。



④AM 店正面



⑤VM 店舗群、屋外展示車

### 1) 店舗 A (トレック、ゲーリーフィッシャー販売店)

この店舗の自転車はアメリカのトレックとゲーリーフィッシャーであった。車種は MTB を中心に幼児車、子供車、BMX の他、ビーチクルーザーも 20 台ほど、ロードレーサーも 5 台在った。展示総数は 100 台余りに及び、この店舗はオートバイとその用品との兼売形態ではあるが、部品、アクセサリも含め展示面積も広く大規模な店舗といえる。価格帯は、MTB は 10,000~100,000P、(45,000~450,000 円) ロードレーサーは 30,000~50,000P (135,000~225,000 円)、ビーチクルーザーは 20,000P 前後 (90,000 円) といったところである。MTB やロードレーサーといったスポーツ車以外で、ビーチクルーザーといった趣味性の強い車種が、しかも冬季で時期が悪いにも拘らず、このような価格設定で店頭販売していた。

### 2) 店舗 B (スペシャライズト、マングース販売店)

こちらの店舗は、MTB、BMX の専門店である。中・高価格帯はスペシャライズト、低・中価格帯はマングース、更に低価格帯は台湾のメリダとウィーラーというブランド構成である。特にスペシャライズトは幅広い車種が充実しており、前後サスフレームからハードテイルモデルや女性用カラーリングの MTB など種類は豊富である。タイヤ、ホイールなどのアフターパーツも充実していた。店内には 100,000P (450,000 円) を超える MTB も多々見られ、更にカーボンフレームのトップモデルもあった。

### 3) 店舗 C (GT、ニコライ販売店)

店主に話を聞いたところ、この店は日本で言うプロショップのような位置付けで廉価車は扱わないとのことである。店頭には GT やウィーラー等の 20,000P 前後 (90,000 円) の MTB もあるが、ドイツのニコライ (NICOLAI) という更に専門的なブランドの MTB も取り扱っており、現在もお客のオーダーを受け納品待ちである。ニコライの人気は相当高く、値段の高いもの (US \$ 3,000、345,000 円) から先に売れていくそうである。同店は、パーツ、アクセサリ一類売り場もかなり充実しており、マビックのホイール、シマノのパーツなど、品揃えも豊富で、XTR やディオレー LX など他店よりも上級グレードを取扱っている。XTR のギャクランク (旧タイプ) は 8,500P (38,250 円) で、中国製の MTB 類型車が 1 台購入できる価格である。

## ⑥ VS 店

こちらはモスクワ市北部の郊外にある店舗である。完成車売場はスロバキアの Kelly's Bicycle とウィーラーの MTB を中心に 50 台程度の展示であった。またここも部品、アクセサリ売場は品揃えが充実していた。フロントフォークサスペンションなどの品揃えも多く、取扱品のグレードは上記⑤3) C 店舗の方が高いものを揃えていたが、展示面積や種類の多さでは当店の方が勝っていた。様々な商品がガラスケースの中に綺麗に陳列され、日本の自転車専門店にも負けない綺麗な内装が印象的であった。



⑤1) 店舗 A 正面



⑥VS 店、屋外展示車

以 上

(デュッセルドルフ事務所)